

第3期奈良県がん対策推進計画の 中間評価に向けて

奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課

第3期 奈良県がん対策推進計画 概要

【計画の位置づけ、根拠法令等】

がん対策基本法第12条に基づく法定計画
「なら健康長寿基本計画」「奈良県保健医療計画」と整合する計画

【計画期間】

平成30年度から令和5年度までの6年間

【策定の趣旨】

国の第3期計画の考えに基づきつつ、県の第2期計画の現状と課題から必要な取組を明らかにし、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図る

基本理念

がんにならない、がんになっても安心できる 奈良県

全体目標

めざすところ 「がんで亡くならない県、日本一」

【数値目標】

がん75歳未満年齢調整死亡率 27%減少
72.3 (H27) → 52.8 (R9)

1 がんにならない、がんで若い人が亡くならない

2 すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる

3 すべての県民ががんを知り、がんに向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる

分野別施策

がん予防・早期発見

がん予防

めざす姿：県民ががん予防に取り組み、罹患が減少している。

- ・たばこ対策の充実
- ・健康的な生活習慣の普及
- ・感染症予防の充実

がんの早期発見

めざす姿：県民が質の高いがん検診を受診できている。

- ・がん検診の受診促進
- ・がん検診精度管理の充実 等

がん医療

がん医療の充実

めざす姿：がん患者が、質の高いがん医療を受けることができている。

- ・がん医療提供体制の充実
- ・がん医療の質の向上
- ・患者目線でのがん診療情報の提供
- ・小児・AYA世代のがん医療の連携促進

診断された時からの緩和ケア

めざす姿：がん患者等が、痛みやつらさが軽減され、療養生活に満足している。

- ・緩和ケア提供体制の充実
- ・緩和ケアの理解促進と情報提供の充実

地域連携

めざす姿：がん患者が、自分の望む場所で療養生活を送ることができる。

- ・拠点病院等の地域連携体制の充実
- ・在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実

がん患者等への支援

相談支援・情報提供

めざす姿：がん患者等が、必要な情報を受け取れ、悩みや疑問が軽減している。

- ・相談支援機能の強化
- ・患者目線での情報提供の充実
- ・小児等世代に応じた相談支援体制の整備

がん患者の就労を含めた社会的問題

めざす姿：働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。

- ・がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実
- ・がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備

がん教育・普及啓発

めざす姿：子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ち、がん予防や早期発見に注意を払っている。

- ・中学・高等学校におけるがん教育の充実
- ・小学校（高学年）における啓発活動の推進
- ・がん対策全般に関する普及啓発の推進

がん登録

めざす姿：がん患者ががん登録データを活用した質の高いがん医療を受けることができている。

- ・がん登録の精度向上
- ・がん登録データを活用したがん対策の検討・実施
- ・データを活用した情報提供等

これらを支える基盤整備

「中間評価」に関する記載は??

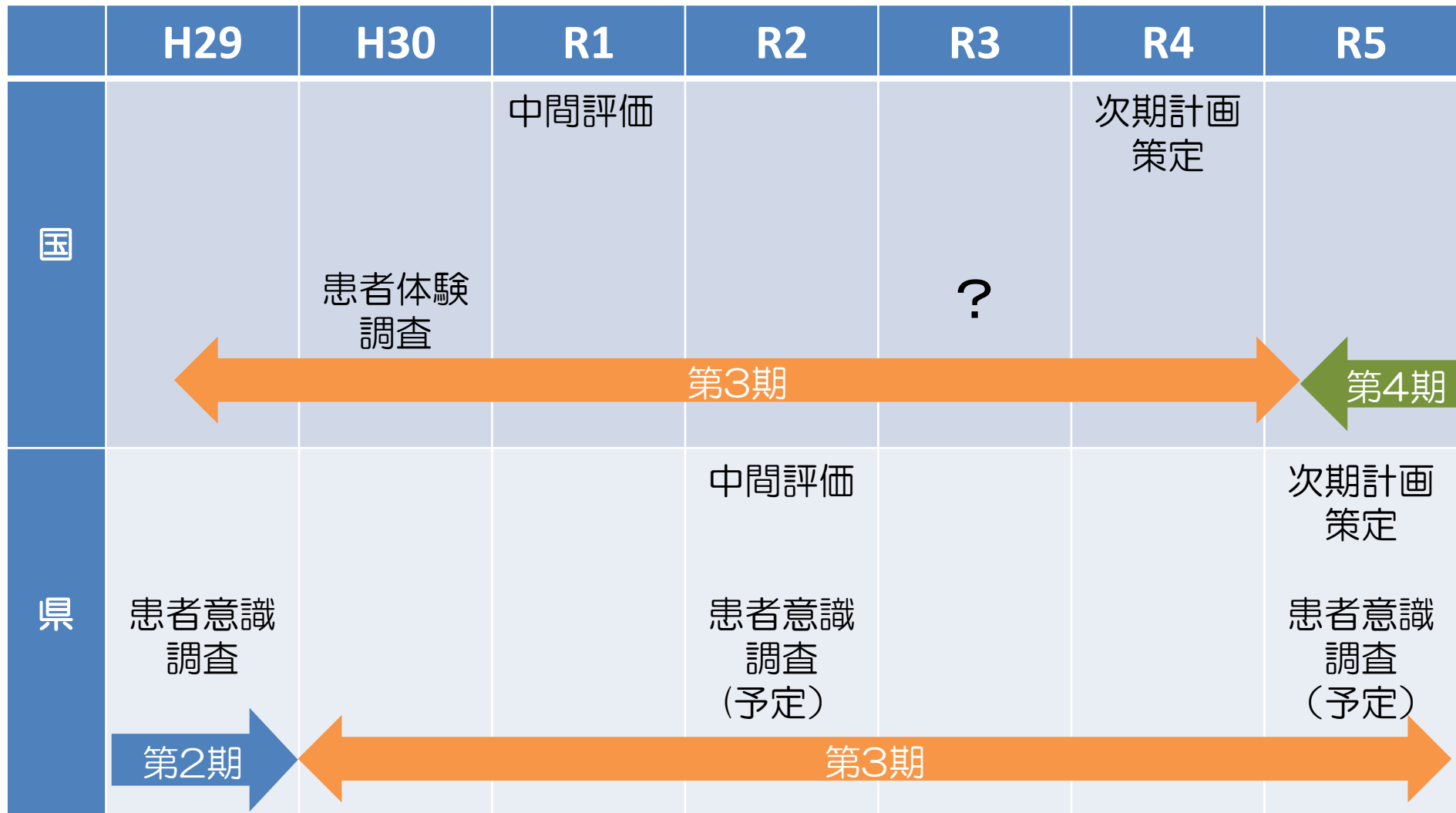
計画の進行管理

より充実したがん対策の実現を図るためには、政策循環（PDCA）のサイクルにより、計画の達成度を評価・分析し、計画の修正や次期計画の策定に反映させ、継続的な改善を進める必要があります。

このため、本協議会において、毎年、施策の実施状況について確認を行うとともに、本計画に基づくがん対策の進捗状況について、3年後を目途に中間評価を行います。その際、個々の取り組むべき施策が個別目標の達成に向けてどれだけの効果をもたらしているか、また、施策全体として効果を発揮しているかという観点から評価を行い、その評価結果を踏まえ、課題を抽出し、必要に応じて施策等へ反映します。さらに、この計画の進捗状況や協議会での検討内容については、県ホームページにも掲載するなど、県民にも広報します。

なお、国では、がん対策の評価に資する医療やサービスの質も含め、分かりやすい指標の策定について、引き続き必要な検討を行うとしており、その動向に注視し、必要な場合指標等の見直しを行います。

第3期奈良県がん対策推進計画推進スケジュール



今後のスケジュール

	平成30年度								令和元年度												令和2年度		
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	～	8
協議会	●							●					●							●			
部会																							

■協議会のミッション

- ・分野別施策の実施状況の確認
- ・がん計画全体の進捗状況管理、評価
- ・各関係者、団体等の取組状況の共有
- ・進捗状況や評価を踏まえての具体的な取組についての意見交換
- ・中間評価（令和2年度）に向けた、効果的な取組等の検討

■部会のミッション

- ・分野別施策の実施状況の確認
- ・分野別計画の進捗状況の管理、評価
- ・各関係団体等の分野別取組状況の共有
- ・進捗状況や評価を踏まえての具体的な取組についての意見交換

がん政策サミット版「中間評価ガイドブック」を活用して 中間評価のシミュレーションに挑戦！！



中間評価の手順

ステップ0

- ロジックモデルを準備

ステップ1

- セオリー評価〔整合性評価〕
- ロジックモデルが論理的につながっているか

ステップ2

- プロセス評価〔実行評価〕
- 決めたことを実行しているかどうか

ステップ3

- インパクト評価〔効果評価〕
- アウトプットがアウトカムに繋がる効果を生んでいるか

ステップ4

- コストパフォーマンス評価〔費用対効果〕
- 効果から、費用や労力が正当化できるか

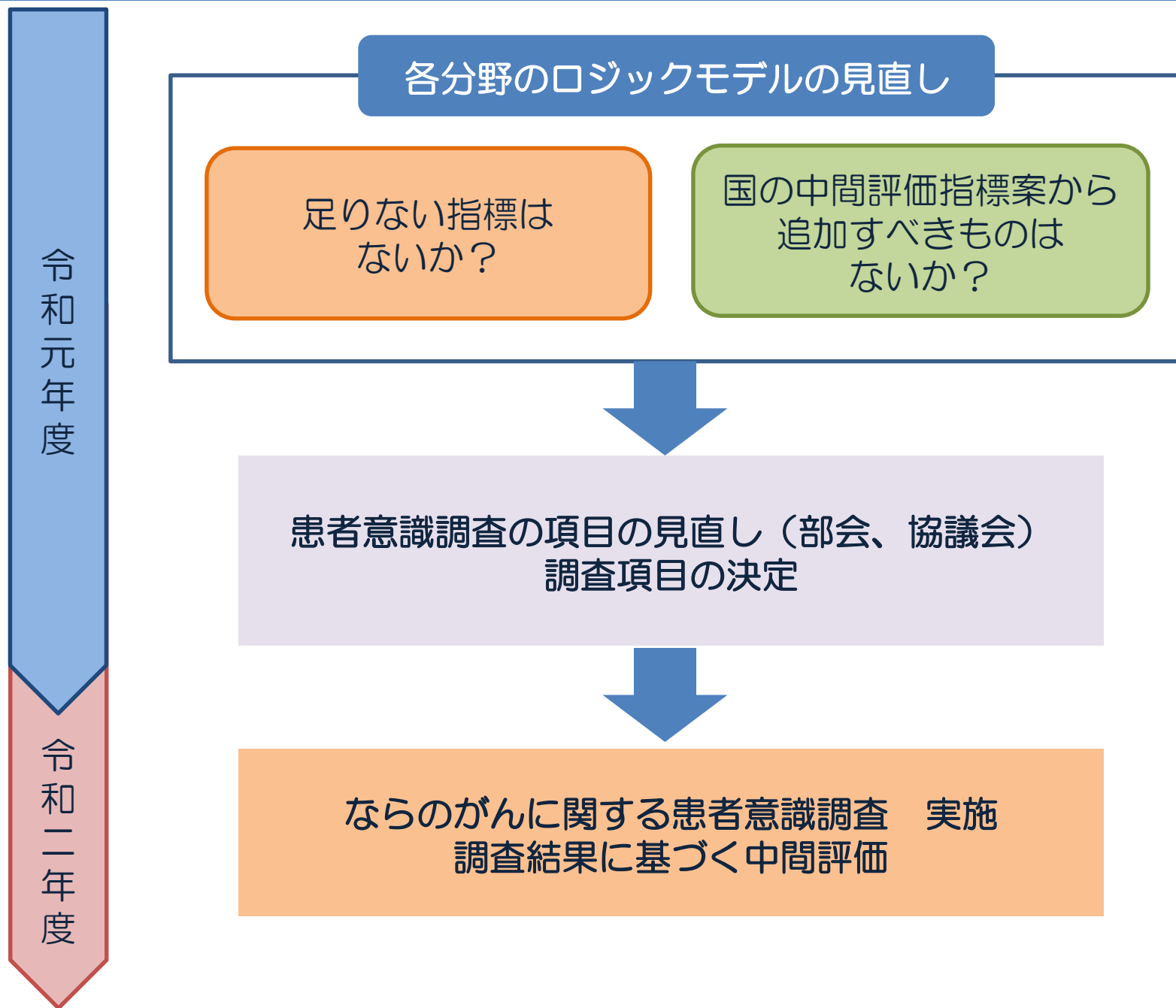
ロジックモデルをブラッシュアップ！！

施策	指標	目標値	初期アウトカム	中間アウトカム	指標	目標値	分野アウトカム	指標	目標値
①拠点病院等の緩和ケア提供体制の質の向上 ・がん診療連携拠点病院等でのがん看護カンセリングの実施促進	・がん看護カンセリングを実施している病院数 ・がん看護カンセリングを受けた患者数	増加 増加	1 緩和ケア提供体制の充実	質の担保された緩和ケア提供体制(緩和ケア外来、チーム医療)が整備されている	緩和ケアチームにおける年間新規診療症例数 緩和ケア外来患者の年間受診患者のべ数	増加 増加	身体的、精神的、社会的苦痛が緩和されている	からだの苦痛に対する希望に応じた緩和ケアの早い提供・症状改善の状況	増加
・地域と連携した緩和ケア外来の利用促進	・緩和ケア外来患者の年間受診患者数	増加			がん患者管理指導料の算定件数(NDB-SCR)	増加		気持ちのつらさに対する希望に応じた緩和ケアの早い提供・症状改善の状況	増加
・緩和ケアチーム研修会の実施								がんの治療を受けながら働き続けられる環境だと思う	増加
施策に対する指標の追加			緩和ケア研修を受けた医師ががん患者に緩和ケアを提供しているかの指標を追加				社会的苦痛に対する指標の追加		
・診断時からの苦痛のスクリーニング等、緩和ケア提供体制に関する評価・分析・公表	緩和ケア提供体制に関する評価・分析の公表(年1回)	実施							
・緩和ケア提供体制の指定要件の確認及び評価・分析	・がん患者指導管理料1を算定している医療機関数	増加							
・業務改善のためのPDCAサイクルによる評価・分析	・がん患者指導管理料2を算定している医療機関数	増加							
②医療従事者への緩和ケア研修会の充実 ・拠点病院等の医師の緩和ケア研修の受講の徹底	・拠点病院における緩和ケア研修会受講率(医師)	90%以上							
・緩和ケアフォローアップ研修の検討・実施	・看護師等の緩和ケア研修会(ELNECJ)の受講者数	増加							
・看護師等のための緩和ケア研修会の検討・実施	・緩和ケアフォローアップ研修(アドバンス研修)受講者数	増加							
③緩和ケアに関する情報の充実、普及啓発 ・「がんネットなら」「がん患者さんのための療養ガイド」等の内容の充実	・「がんネットなら」認知度、アクセス数	増加	2 緩和ケアの理解促進と情報提供の充実	がん患者の緩和ケアについての正しい理解が進んでいる	緩和ケアはがんと診断された時から受けるものだ知っている	増加			
・拠点病院等の地域に向けた公開講座の実施	・拠点病院等における公開講座の開催	増加							
・患者に必要な医療情報等を拠点病院等と連携し地域に向けて情報発信(診療情報見える化推進事業)	・がんネットならにて公表	公表							

つながり確認

つながり確認

第3期奈良県がん対策推進計画 中間評価に向けて



国の第3期がん対策推進基本計画中間評価指標（案）一覧

第73回がん対策推進協議会

資料 6

令和元年6月28日

第3期がん対策推進基本計画中間評価指標（案）一覧

指標(案)	用いる調査
1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実～がんを知り、がんを予防する～	
全体目標	
1001 がんの年齢調整死亡率	がん登録・統計
1002 がん種別の年齢調整死亡率の変化	がん登録・統計
1003 がんの年齢調整がん罹患率	がん登録・統計
1004 がん種別の年齢調整がん罹患率の変化	がん登録・統計
(1) がんの一次予防	
①生活習慣について	
1011 成人喫煙率	国民健康・栄養調査
1012 未成年喫煙率	厚生労働科学研究
1013 妊娠中の喫煙率	厚生労働科学研究
1014 禁煙希望者の割合	国民健康・栄養調査
1015 望まない受動喫煙の機会を有する者の割合	国民健康・栄養調査
1016 ハイリスク飲酒者の割合	国民健康・栄養調査
1017 運動習慣のある者の割合	国民健康・栄養調査
1018 適正体重を維持している者の割合	国民健康・栄養調査
1019 食塩摂取量	国民健康・栄養調査
1020 野菜・果物の摂取量	国民健康・栄養調査
1021 野菜・果物の摂取不足の者の割合	国民健康・栄養調査
②感染症対策について	
参 B型・C型肝炎ウイルス感染率	厚生労働科学研究
参 B型・C型肝炎ウイルス検査受検率	厚生労働科学研究
参 B型肝炎定期予防接種実施率	地域保健・健康増進事業報告
参 ヒトT細胞白血病ウイルス1型感染率	AMED
(2) がんの早期発見及びがん検診	
①受診率向上対策について	
1031 がん検診受診率	国民生活基礎調査
1032 精密検査受診率	地域保健・健康増進事業報告
参 精密検査未把握率	地域保健・健康増進事業報告
参 精密検査未受診率	地域保健・健康増進事業報告
参 コールリコールを実施している市区町村の割合	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
②がん検診の制度管理などについて	
1033 指針に基づくがん検診を実施している市区町村の割合	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
1034 「事業評価のためのチェックリスト」を実施している市区町村の割合	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
参 指針に基づかないがん検診を実施している市区町村の割合	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
③職域におけるがん検診について	
2. 患者本位のがん医療の実現～適切な医療を受けられる体制を充実させる～	
全体目標	
2001 がんの5年生存率	がん登録・統計
2002 がんの年齢調整死亡率	がん登録・統計
2003 医療が進歩していることを実感している患者の割合	患者体験調査(成人問41-1、小児問40-1)
2004 納得のいく治療を受けられたがん患者の割合	患者体験調査(成人問20-10)
2005 がんの診断・治療全体の総合的評価	患者体験調査(成人問23、小児問25)
2006 医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	患者体験調査(成人問20-4、小児問20-4)

第3期奈良県がん対策推進計画 指標一覧①

全体、分野別目標で指標を設定(171指標) → うち、患者意識調査由来の指標(37指標)

1 全体目標

目標	指標	現状値 (基準値)	H30年度	目標値	出典
がんにならない がんで若い人が亡くならない(がん予防、早期発見・早世防止)	がんの75歳未満年齢調整死亡率	72.3 (H27)	67.6 (H29)	52.8 (H39)	人口動態統計
すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる	現在の心身の状況についてからだの苦痛(痛み)があると回答のあった割合	17.4% (H29)	—	減少	ならのがんに関する患者意識調査(奈良県)
	現在の心身の状況についてからだの苦痛(痛み以外の症状)があると回答のあった割合	33.8% (H29)	—	減少	
	現在の心身の状況について気持ちがつらいと回答のあった割合	30.5% (H29)	—	減少	
	経済的なことや就労のことなど、生活上の心配があると回答のあった割合	27.5% (H29)	—	減少	
	これまで受けた治療に納得していると回答のあった割合	88.1% (H29)	—	増加	
	がんと診断されたことによる心配や悩みは、何らかの支援によって現在は軽減されたと回答のあった割合	36.4% (H29)	—	増加	
	現在の日本は、がん治療を受けながら、働き続けられる環境だと思うと回答のあった割合	29.1% (H29)	—	増加	
すべての県民ががんを知り、がんに向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる	この1年間に自ら健康づくりのためにしたこと ・がん検診を受ける	31.5% (H29)	35.5% (H30)	増加	県民アンケート(奈良県)
	・たばこを吸わない	55.9% (H29)	60.5% (H30)	増加	
	・塩分を取り過ぎない	48.4% (H29)	52.4% (H30)	増加	

第3期奈良県がん対策推進計画 指標一覧②

第3期計画における分野	指標数	うち患者意識調査由来の指標数
全体目標	11	7
1. がん予防・早期発見	50	0
(1)がん予防	30	0
(2)がんの早期発見	20	0
2. がん医療	57	17
(1)がん医療の充実	25	9
(2)がんと診断された時からの緩和ケア	16	3
(3)地域連携	16	5
3. がん患者等への支援	29	11
(1)相談支援及び情報提供	15	6
(2)がん患者への就労を含めた社会的な問題	14	5
4. がん登録	13	2
5. がん教育・普及啓発	11	0
計	171	37